

平成17年度は109名が登録しました

釧路開発建設部では、釧路湿原の良好な河川環境づくりに貢献するボランティア活動「釧路湿原川レンジャー」を平成12年度より実施しています。初年度は51名の登録でしたが平成17年度の釧路湿原川レンジャーを新たに募集し109名登録しました。その内、101名の方は昨年から引き続いての登録で、その中の27名の方は平成12年の発足以来、6年連続しての登録となりました。

釧路湿原川レンジャーの主な活動として、日常生活において釧路湿原や河川環境について観察する活動と、釧路湿原や河川環境について専門家の話を聞く学習活動などがあります。

募集パンフレット



【新聞広告】 北海道新聞、釧路新聞 平成16年4月20日(火)

釧路湿原川レンジャー 募集要項

1.活動の目的 釧路湿原の河川環境保全の取り組みの一環として、釧路湿原の良好な河川環境づくりに貢献することを目的とするものです。

2.活動の内容 【観察活動】 日常生活において釧路湿原や河川環境について観察し、その内容を連絡していただくのが川レンジャーの主な活動です。
例えば、「ここには、こんな鳥がいた!」「いままであそこには動物がいなかった」と。
【学習活動】 釧路湿原や河川環境の専門家とともに季節ごとの現地観察会と、釧路湿原をより深く理解するための学習会を行います。

3.募集要項 (1)対象 釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、標津村にお住まいの15歳以上の方。
(2)募集定員:150名 申し込み受付順に先着150名とし、平成16年度の川レンジャーとして登録させていただきます。
(3)申し込み方法:電話で住所、氏名、性別、年齢、職業、電話番号をお知らせください。
(4)申し込み期限:平成16年4月22日(水)～23日(木) [土・日を除く]
[受付時間] 9時00分～16時00分
(5)申し込みお問い合せ先:国土交通省 釧路開発建設部 治水課 河川環境係
0852-8951 釧路市幸町10丁目5番地
【申し込みお問い合わせ】 国土交通省 釧路開発建設部 治水課 河川環境係 0120-8946-42
http://www.ks.hkd.mlit.go.jp/



活動の目的と内容

釧路湿原川レンジャー

●活動の目的

観察活動・学習活動を通じて、釧路湿原の良好な河川環境づくりに貢献することです。

●観察活動

日常生活において釧路湿原や河川環境について観察し、その結果を報告していただくのが川レンジャーの主な活動です。

報告する内容は例えば次のようなことです。

- ・そこに従来無かった植物がある、今までいた動物がいなくなった。
- ・河岸が崩れていた、中州が広がっていた。
- ・ダンチョウ怪我などの異常が見られる。近づくと人がいる。
- ・川が汚れている。悪臭がする。
- ・立ち入れない場所に車や人が入り込んでいる。

●学習活動

釧路湿原や河川環境の専門家とともに季節ごとの現地視察と学習会を行います。

平成17年度「釧路湿原川レンジャー」認証式 が行われました。

109名が登録

平成17年5月20日、「釧路湿原川レンジャー」の認証式が26名出席のもと、釧路地方合同庁舎会議室で行われました。

今年度の登録者数は109名で、任期終了の平成18年3月31日までの間、観察活動や学習活動などが行われます。

認証式では、釧路開発建設部丹野次長から出席者の一人一人に認定証が渡されました。丹野次長の挨拶の中で、「昨年度の川レンジャーの活動において、9名の方から釧路川周辺観察やゴミの不法投棄、河川内の不法施設など、12件の報告を頂き、これらの報告は貴重な釧路湿原の環境を守り、正しく利用していく目的で活用させていただきました。」との話がありました。

その後、事務局からは、川レンジャーの目的や活動内容、今年度の予定などの説明がありました。



北海道建設新聞
平成17年5月24日(火曜日)

釧路湿原川レンジャー認証式
釧路開発建設部

（釧路湿原の川環境保全に
関し地域住民がボランティア
で参加協力を）「釧路湿
原川レンジャー」の200
5年度レンジャー認証式を
開催した。

2000年度からの取り
組んで、レンジャーは日常
生活を営む中で釧路湿原
や川環境を観察、気付い
た点を連絡したり、現地観
察や学習会などに参加す
る。本年度は109人が定
員。

レンジャーの活動に期待を
寄せ認定証を授与した
中の7人は制度スタート
から6年連続での参加とな
った。

認証式では、丹野次長
が制度の趣旨を話しなが
ら「昨年度は不法投棄など
の報告を受け、行政サイ
ドの迅速な対応に役立っ
た。皆さんの活動が貴重な
湿原の環境を守り、正し
く利用の普及を図るエ
ンジェラーになる」と期
待し、出席した26人一
人ひとりに「よろしくお
願いします」と声を掛
け認定証を手渡した。

本年度の活動の準備と
して、来月15日に塩保木
水門周辺で補植活動を行
う予定。

